

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	大住保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成20年 6月 18日

総 評	<p>大住保育園は、京田辺市の農業調整区域内の豊かな自然環境に恵まれた場所に位置し、昭和27年4月に宗教法人日本基督教団世光教会の認可施設として創立され、昭和42年6月に社会福祉法人大住福祉会に運営主体が移管されて現在に至っている伝統のある保育園です。</p> <p>現在の建物は、平成13年に全面改築されており、明るく家庭的な印象です。保育士はキリスト教保育に基づいた愛情ある保育を志し、子ども達はゆったりとした温かい環境の中で、のびのびと、遊びや生活を楽しんでいます。又、地域子育て支援センターを設置しており、積極的に園庭開放や育児相談、情報誌の発行などを行っており、地域の子育て家庭を支える保育園としてその役割を担っています。</p> <p>保育関係の書類は、適切に記録・管理されています。それらの情報を有効に活用するためにも、職員間で必要な情報を共有し、組織としての連携を向上させるよう取組まれることを期待します。</p> <p>管理者及び職員の保育に対する温かいまなざしが、園全体の家庭的な雰囲気を作り出しており、一人ひとりの子どもたちに対して愛情深く、豊かな心を育む保育を目指しています。</p>
特に良かった点(※)	<p>京田辺市の委託業務として、地域子育て支援センター事業を実施しています。毎週2回の園庭開放では、地域の子どもたちと在園児とが自然に交流し、異年齢の集団での関わりが育まれています。又、育児相談の実施や地域の子育て家庭に向けた情報誌「すくすく」を毎月発行するなど、地域の子育て家庭を積極的に支援する姿勢があります。</p> <p>保育関係の書類がしっかりと記録されており、その管理も適切に行われています。記録内容も、定められた手順と書式によって子どもの発達状況や生活状況などを細かく記載しており、職員間で記録内容にばらつきが生じないようにしています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>職員間での子どもの状況等に関する情報は、適宜連絡を取り合っていますが、定期的な連絡会等は実施していません。今後は、定期的なミーティングや文書による連携を実施すると尚良いでしょう。</p> <p>保育園でも検討されているクラス懇談会を実施されることを期待します。各家庭の子育てに対する不安や園に対する要望等を汲み取り、双方のコミュニケーションを図る良い機会となりますので、定期的な個人面談なども視野に入れて検討していくことを期待します。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	大住保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年6月18日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	B	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	C	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	C	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	C	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

[自由記述欄]

■毎月の全員職員会議では、理念・基本方針に基づいたキリスト教保育の教えを唱和し、職員全員が理念と基本方針の理解を深めるように努めています。ただ、保護者に対しては、入園時に配布される園のしおりには明示されているのみなので、保護者や地域の方々への理解を深める取り組みをされると良いでしょう。

■事業計画は、法人の事業計画に基づいて策定されています。園の経営方針となるものですので、職員会議など現場からの意見等を反映し、組織全体にとってより有効な計画策定を実施され、利用者や職員へ周知されると尚良いでしょう。

■園長・主任は、月1回の全体職員会議や必要に応じて各部署会議を実施しています。行政からの法令等は職員間で回覧しており、周知されています。各職員と園長・主任は、適宜情報交換を実施し連携していますが、定期的な各部署会議を実施されるなど、職員間の情報共有に取り組まれると尚良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	C	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	C	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	B	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		C	A	

【自由記述欄】

■人事考課は、現在実施していません。年度末に全職員に「来年度への手紙」と称して、年度の反省や来年度に向けての思いや希望を記入してもらい、それをもとに園長・主任との面談を実施し、次年度の体制に対する要望を汲み取るようにしています。研修報告書は、指定の書式に記入されています。今後は、研修報告書の評価・分析を定期的に行い、個別の研修計画等を作成し職員の資質向上を図り保育に反映されると尚良いでしよう。

■実習生の受け入れに対する意義・方針を明文化しています。毎年、多くの実習生を受け入れており、後進の育成や職員が改めて保育を見つめなおす機会として積極的に取り組まれています。

■門扉に防犯ブザーやカメラを設置し、施設内での安全確保に努めています。防災訓練も毎月実施し、園児が迅速に対応出来るように取り組んでいます。今後は安全管理に関するマニュアル等について、定期的に見直し確認する機会をもち、全職員で意思の統一を図ると良いでしよう。

■子育て支援センター事業を実施し、園庭開放や育児相談を行っています。園庭開放では、約40組ほどの子育て家庭が来園し、保護者同士や在園児との自然な交流が図られています。また、情報誌「すくすく」を毎月発行されており、園庭開放に来られた保護者だけでなく、公共機関等でも無料配布しています。

■地域の関係機関や団体などの連絡リストを作成しており、必要に応じて病院・自治会・市役所等との連携を図っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-2 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	B	
	Ⅲ-1-3 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	C	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	C	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	B	
Ⅲ-2-2 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	B	
Ⅲ-2-3 サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-1 サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	C	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-2 サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	C	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-1 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	B	
	Ⅲ-4-2 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A	

【自由記述欄】

■キリスト教の教えに基づいた保育を基本として、一人ひとりの子どもを受容し、子どもが安心して生活できる環境を整えるよう全体職員会議で周知し、また、それらを反映した保育計画を作成し、職員間で共通の理解が持てるようにしています。

■利用者満足の向上について、0歳児から3歳児までは、連絡帳で日々の子どもの様子を保護者へ伝えていきます。4歳児・5歳児についても、ホワイトボードに日々の保育内容の掲載や、連絡ノートで適宜保護者との情報交換を実施しています。家庭訪問は毎年全園児対象に実施されています。クラス懇談会や個人面談は現在実施していませんが、今年度より保育参観後にクラス懇談会や個人面談の実施を検討しています。保護者へのアンケートを「新しく取り組んだ行事」の後に実施されていますが、定期的に取り組むと尚良いでしょう。

■苦情解決の仕組みは整備されており、保護者に対しても周知されています。

■全体職員会議にて、保育内容を定期的に見直し、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っています。また、この第三者評価受診をきっかけに園内に評価委員会を設置し、職員による自己評価を実施しています。今後は、明確になった課題などに対する改善策を策定し、園全体での対応を目指しています。

■各々の保育場面に対し標準的な実施方法を定めています。保育の記録は、子ども一人ひとりに対し園で統一した方法で記録され、適切に管理されています。

■職員間での子どもの状況等に関する情報は適宜連絡を取り合っていますが、定期的な連絡会等は実施していません。今後は、定期的なミーティングや文書による連携を実施すると尚良いでしょう。

■利用希望者に対して、園庭開放による体験利用や見学希望を受け入れています。新入園児の面接にあたっては、しおり等により保護者にわかりやすく、園の生活面での決まりごとや、料金等の説明を実施しています。利用者のアセスメントは、決まった手順と書式により適切に実施されています。

■保育サービスの実施計画は、子どもの身体状況や生活状況をふまえて、適切に記録されています。また、定期的な評価・見直しを実施し、次期、次年度に反映させています。各文書は適切に管理されています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	大住保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年6月18日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	B
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	B
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

- 保育計画が保育の基本方針に基づいて作成されており、それに基づいた指導計画などの評価を定期的に行っています。
- 登園時や保育中の子どもの健康管理に関するマニュアルを作成しています。また、行政からの感染症等の連絡も園内に掲示し、保護者へ注意を喚起しています。子どもの健康状態は随時連絡を取り合っていますが、今後は手順を定められ職員間の情報の共有化をされると尚良いでしょう。
- 健康診断は、内科健診・歯科健診ともに実施しています。診断結果は、健康記録によって記録されており、保護者と職員に周知し保育に反映するよう努めています。
- 給食は、ランチルームがあり、行政の献立をもとに提供しています。4、5歳児は、子どもたちで配膳や後片付けを手伝っています。
- 給食だよりや給食レシピを保護者に配布し、園での食事に興味を持ってもらえる工夫を行っています。アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、医師の指示を得て除去食等を提供しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

■各保育室は、きれいに清掃されており清潔に保たれています。季節に合わせた飾りや花などを取り入れるなどの配慮が見られます。また、表現活動として、絵画やリトミックなどを保育に取り入れてます。

■保育士の言葉がけをはじめ子どもへの対応はとても丁寧で子どもを温かく受容しています。また、散歩や園庭開放を実施し、子どもたちが周辺の豊かな自然に触れ合ったり地域の子どもたちに接する機会をつくっています。

■乳児保育室は、床暖房や畳の部屋・コーナー保育の整備など、乳児保育のための環境を整備しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	B	B
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	C	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	C	B
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
	A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている			A	A
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている			非該当	非該当
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当

【自由記述欄】

■ 日常的な情報交換は、連絡帳・掲示板による一日の出来事などで知らせています。子どもたち一人ひとりの家庭の状況や、要望を把握しながら保育していますが、懇談会は現在実施していません。今後は懇談会を実施されると尚良いでしょう。また、必要に応じて個別の相談内容やケアの経過等についても記録されると良いでしょう。

■ 調理場は、衛生管理マニュアルを作成し清潔に保たれています。食中毒に関するマニュアルも整備し、それに沿った対応を行っています。